



学校だより

令和4年10月31日

11月号

学校教育目標
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校



「学校行事の意義」

副校長 山田 太一

新型コロナウイルス感染症の影響から、多くの学校行事が中止または形を変えて実施されるようになりました。ここ数年は、放送による全校朝会や集会となり、一堂に会することがほとんどなくなっています。

そのような中、10月11日には3年ぶりに校庭で全校児童が集まり区切りの式を行いました。私は日枝小学校に来て、初めて全校児童と教職員の前で挨拶をすることができました。久しぶりに全員が集まる光景に感慨深いものがありました。3年生以下の学年は、初めて校庭での朝会を経験したのだと思いますが、最後までしっかりと話を聞く姿が見られました。高学年は、体の向きを朝礼台の方に向け、良い姿勢で立って参加していました。下学年の手本となる立派な態度でした。学年の代表として朝礼台の上で挨拶をした児童は、緊張しながらも堂々と話をすることができました。

10月17日には、「第112回日枝小学校運動会」が行われました。今年度は感染症対策として、3学年ごとに分かれて2部制の分散開催で実施しました。当日は、学援隊の皆様にも運営面でご協力いただきました。学校運営協議会の委員の皆様には、来賓としてご参観いただくことができました。地域の方々や保護者の皆様のご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。

今年度の運動会は「本気でチャレンジ！笑顔で楽しむ」をスローガンに全校で力を合わせて「協力する運動会」の実現に向けて取り組みました。全校で合計2022回を目指した「長縄チャレンジ」では、クラスの最高記録が出て喜ぶ姿が見られました。目標を達成することができなかったクラスもありましたが、これまでの練習の成果を発揮して、全校で力を合わせて2305回の記録を出し、見事、チャレンジを達成しました。また、他学年を応援し合う姿や5・6年生が係の仕事に懸命に取り組む姿等、素敵な姿がたくさん見られました。

運動会に関しては、まだ全校での取組とはいきませんでした。競争だけでなく協力という新しい形で種目を取り入れ、新たな価値が生まれています。閉会式で代表で挨拶した6年生と5年生の児童は、このような言葉を述べています。「長縄の新記録は出なくて残念だったけど、クラスの中の深まりには新記録が出たと思いました。長縄を通してみんなとのチームワーク、励まし合いなどを学びました。これからもずっと大切にしていきたいです。(6年生要約)」「たくさんの声援があったおかげで一生懸命最後まで頑張ることができました。今年に負けないぐらい来年も笑顔で楽しむ運動会をつくっていきましょう。(5年生要約)」

学習指導要領には、学校行事の目標が次のように書かれています。「全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う。」

区切りの式や運動会で見られた子どもたちの姿は、日枝小学校への愛着をもち、学校の一員としての自覚や仲間意識など集団への所属感が高まることにつながります。また、他学年を意識した行動は、互いを高め合い、子どもたちの主体性を育むことにもつながります。学校行事における感動体験の場は、子どもの心を育て、自分自身の生き方や考え方を深めるよい機会です。予定通りいかないこともあると思いますが、これからも学校行事の意義を大切にして、よりよい活動になるよう努めてまいります。引き続き、ご支援いただきますようお願いいたします。